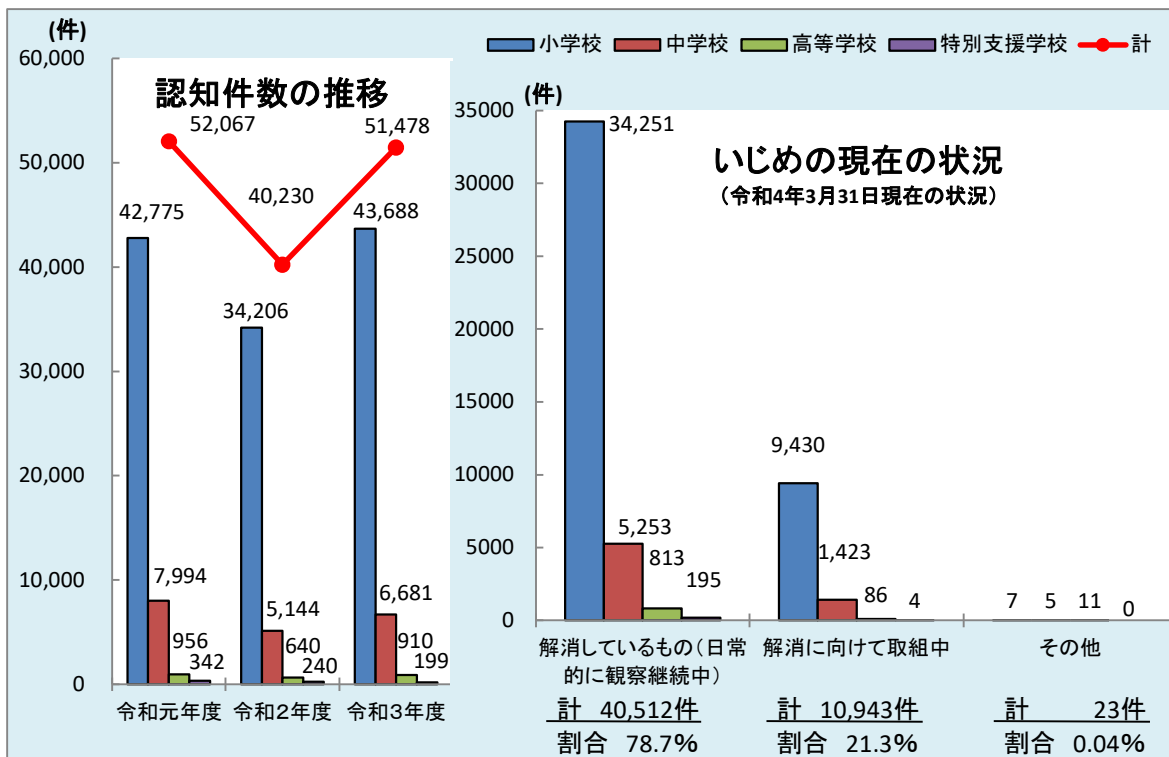


令和3年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
小学校	令和元年度	781	758	97.1%	42,775	11,134【35.2%】	54.8
	令和2年度	767	735	95.8%	34,206	△8,569【△20.0%】	44.6
	令和3年度	755	731	96.8%	43,688	9,482【27.7%】	57.9
中学校	令和元年度	377	368	97.6%	7,994	1,096【15.9%】	21.2
	令和2年度	371	351	94.6%	5,144	△2,850【△35.7%】	13.9
	令和3年度	367	351	95.6%	6,681	1537【29.9%】	18.2
高等学校	令和元年度	145	131	90.3%	956	193【25.3%】	6.6
	令和2年度	145	123	84.8%	640	△316【△33.1%】	4.4
	令和3年度	144	118	81.9%	910	270【42.2%】	6.3
特別 学校 支援	令和元年度	43	29	67.4%	342	162【90%】	8.0
	令和2年度	43	28	65.1%	240	△102【△29.8%】	5.6
	令和3年度	43	27	62.8%	199	△41【△17.1%】	4.6
計	令和元年度	1,346	1,286	95.5%	52,067	12,585【31.9%】	38.7
	令和2年度	1,326	1,237	93.3%	40,230	△11,837【△22.7%】	30.3
	令和3年度	1,309	1,227	93.7%	51,478	11,248【28.0%】	39.3

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制126校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に行うものとする。

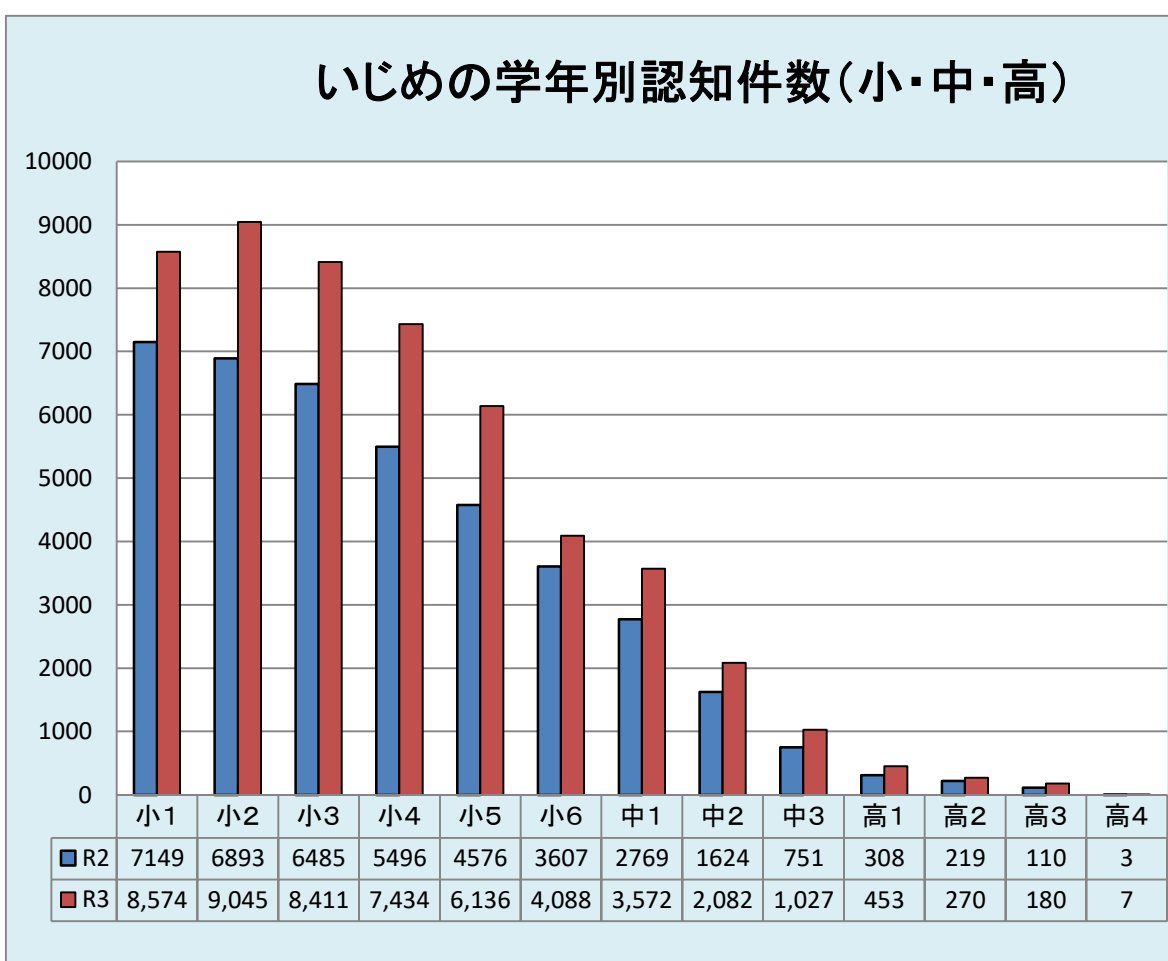
「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別内訳

(単位:件)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	8,574	9,045	8,411	7,434	6,136	4,088	43,688	
中学校	3,572	2,082	1,027	—	—	—	6,681	
高等学校	453	270	180	7	—	—	910	
特別支援学校	小学部	3	11	19	2	3	20	58
	中学部	18	11	16	—	—	—	45
	高等部	26	35	35	—	—	—	96
特別支援学校計	47	57	70	2	3	20	199	

※令和3年度より、男女別に関わらず、認知件数を計上

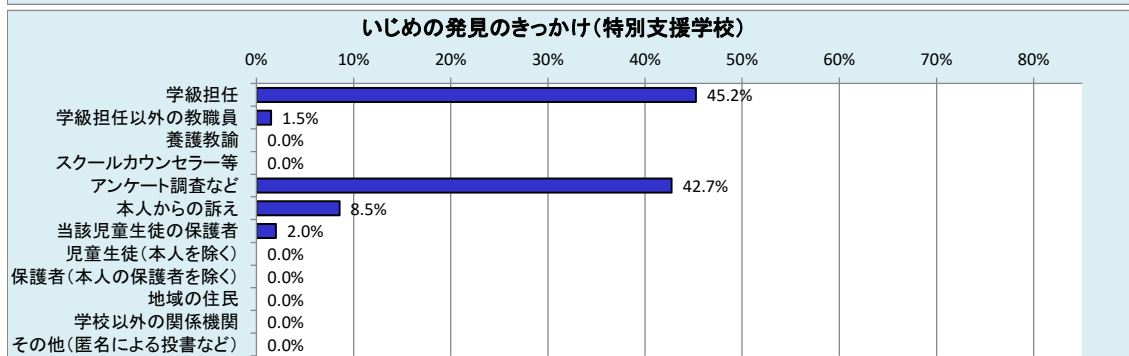
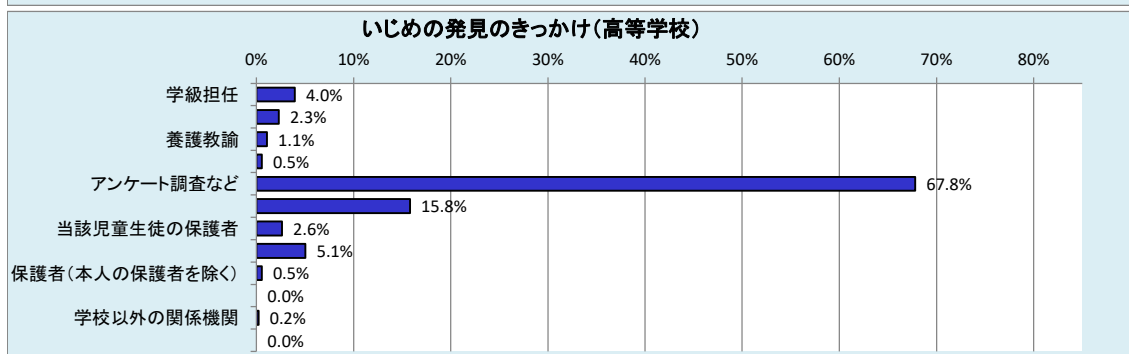
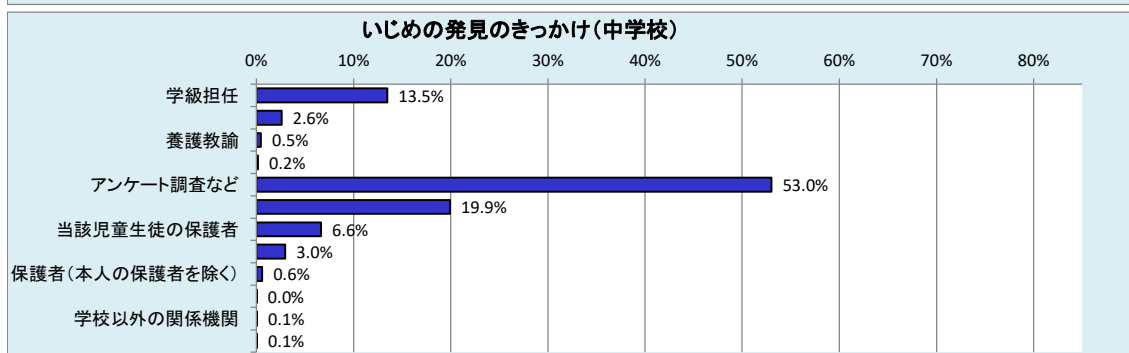
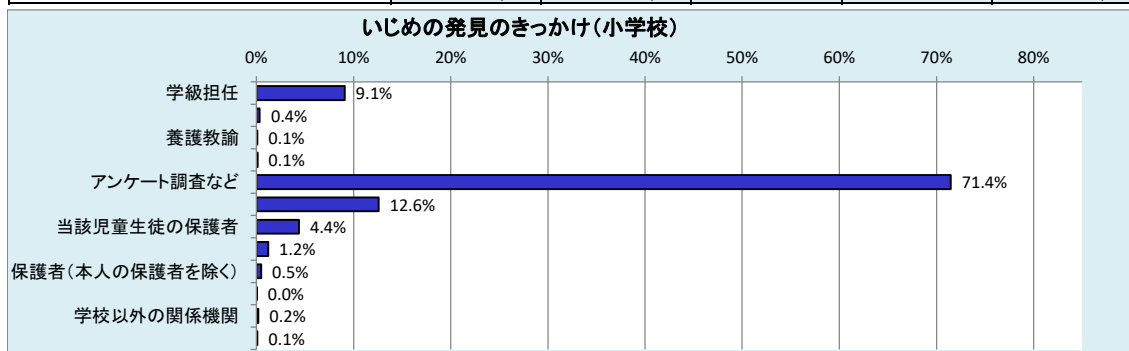


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区 分		小 学 校	中 学 校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見		35,425	4,656	689	178	40,948
内 訳	学級担任	3,971	899	36	90	4,996
	学級担任以外の教職員	153	173	21	3	350
	養護教諭	42	31	10	0	83
	スクールカウンセラー等	46	11	5	0	62
	アンケート調査など	31,213	3,542	617	85	35,457
学校の教職員以外からの情報により発見		8,263	2,025	221	21	10,530
内 訳	本人からの訴え	5,489	1,332	144	17	6,982
	当該児童生徒の保護者	1,906	444	24	4	2,378
	児童生徒(本人を除く)	523	198	46	0	767
	保護者(本人の保護者を除く)	206	40	5	0	251
	地域の住民	9	2	0	0	11
	学校以外の関係機関	86	5	2	0	93
	その他(匿名による投書など)	44	4	0	0	48
	計	43,688	6,681	910	199	51,478



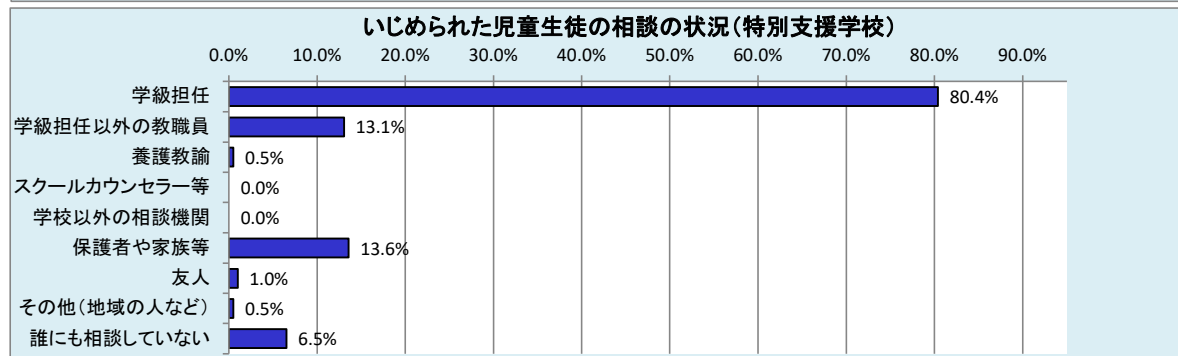
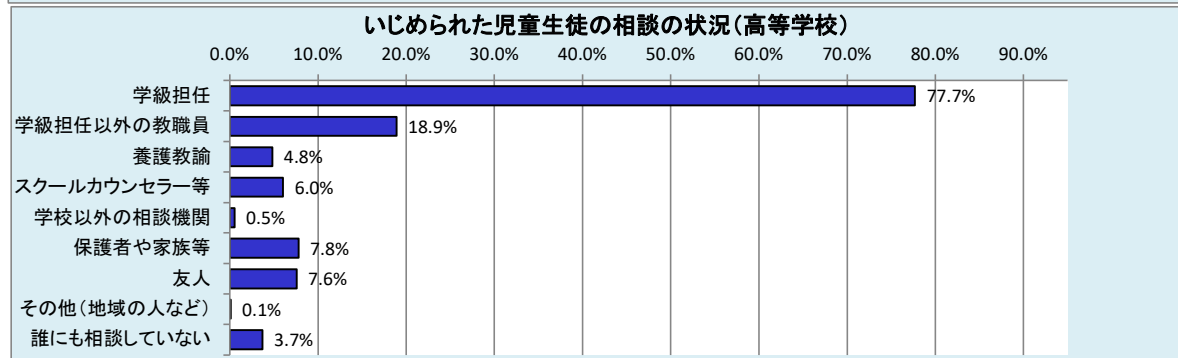
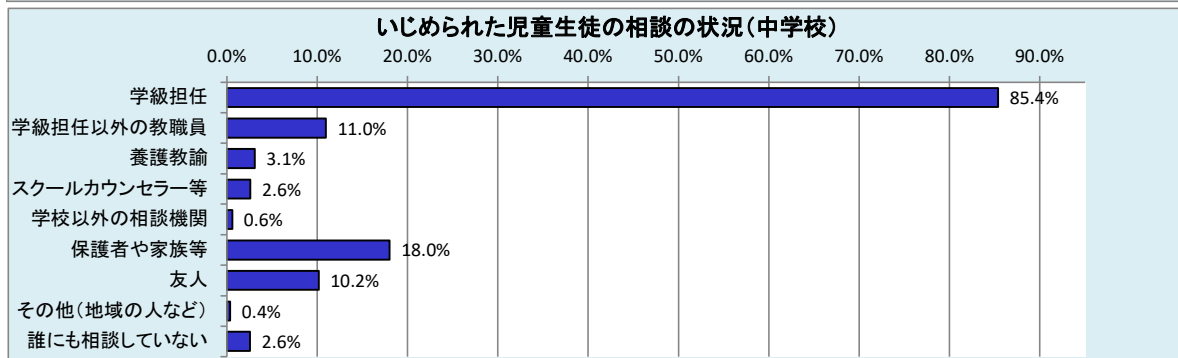
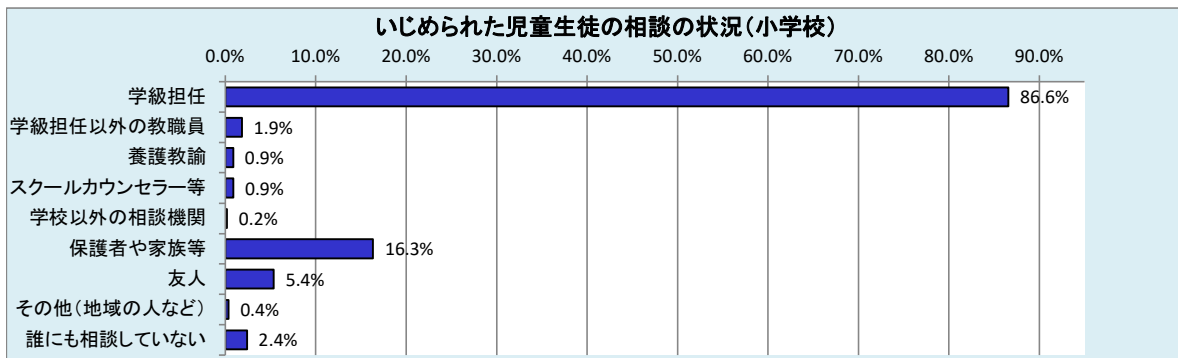
※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。
(認知件数:小学校43,688件、中学校6,681件、高等学校910件、特別支援学校199件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	37,817	5,704	707	160	44,388
学級担任以外の教職員	810	733	172	26	1,741
養護教諭	385	207	44	1	637
スクールカウンセラー等	387	174	55	0	616
学校以外の相談機関	90	40	5	0	135
保護者や家族等	7,140	1,204	71	27	8,442
友人	2,349	679	69	2	3,099
その他(地域の人など)	155	25	1	1	182
誰にも相談していない	1,050	172	34	13	1,269
計	50,183	8,938	1,158	230	60,509

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

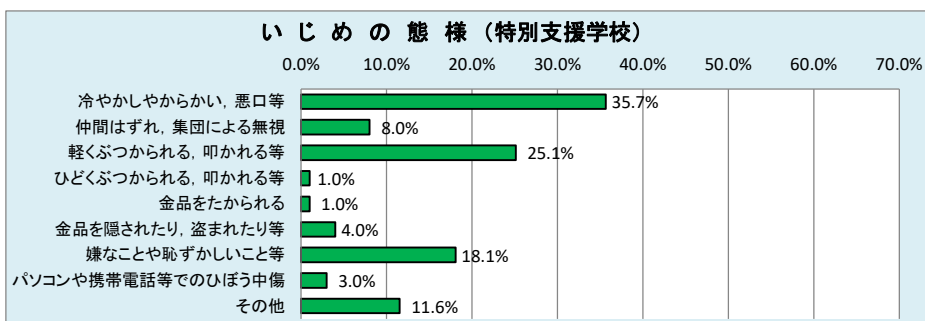
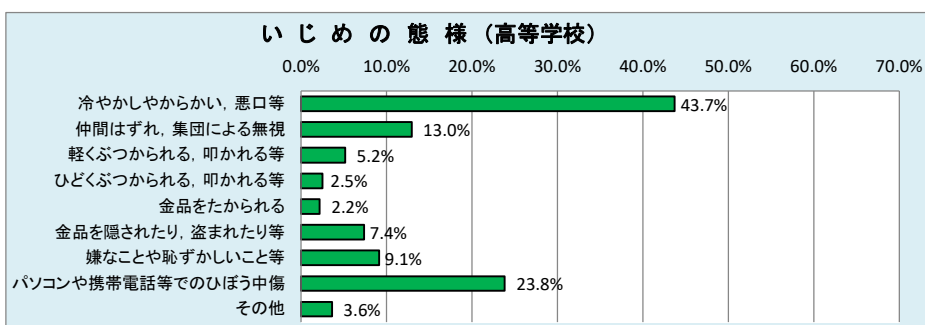
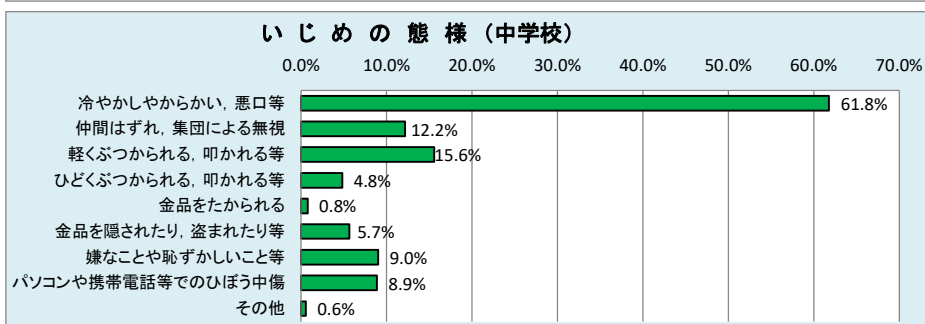
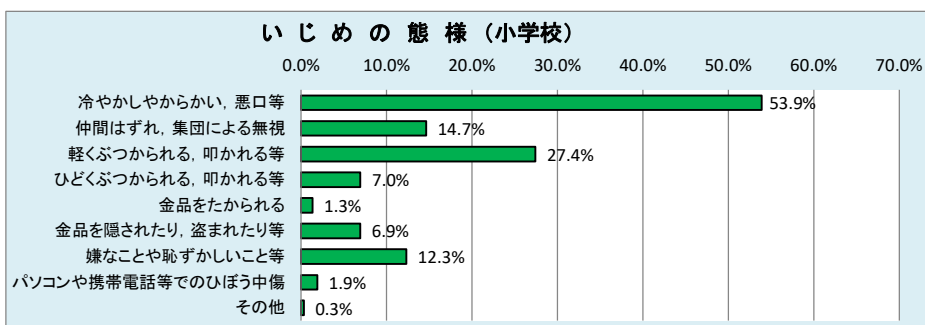
(認知件数:小学校43,688件、中学校6,681件、高等学校910件、特別支援学校199件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	23,545	4,129	398	71	28,143
仲間はずれ, 集団による無視	6,402	814	118	16	7,350
軽くぶつかられる, 叩かれる等	11,986	1,042	47	50	13,125
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	3,039	322	23	2	3,386
金品をたかられる	586	52	20	2	660
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	3,023	379	67	8	3,477
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	5,384	604	83	36	6,107
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	838	593	217	6	1,654
その他	141	38	33	23	235
計	54,944	7,973	1,006	214	64,137

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校43, 688件、中学校6, 681件、高等学校910件、特別支援学校199件)